

県政運営に新たな覚悟求め！

知事の政治姿勢ただす

自由民主党千葉県議会議員会長として、53名の自民党県議団をまとめる阿部紘一（あべ・こういち）県議は、平成26年度一般会計当初予算案を審議する2月定例会で、一般質問に登壇しました。阿部県議は、質疑の中で森田県政の2期目のスタートに一定の評価を与えながらも、本格的な人口減少・少子高齢社会の到来などの課題に対して、知事は新たな覚悟で県政運営に取り組むべきだと、厳しく注文をつけました。

千葉県の新年度予算は、自民党議員会がまとめ、3月26日に発行予定の「ちば自民党県議会レポート」に掲載いたしますので、予算の概要はそれをご覧下さい。今号では、一般質問での阿部県議の中小企業対策などについての主な質疑と、自らの議員報酬の情報公開を掲載いたしました。



2月県議会一般質問に登壇

阿部議員 まず、知事の政治姿勢について伺います。昨年3月の知事選で再選されてから、2期目の森田県政はまずは順調なスタートを切ったと言えるのではないのでしょうか。

もともと、このような順調な県政運営は、いわゆるアベノミクスの効果による景気回復や国政の安定など、外部環境の好転に支えられた面も大きいのではないかと思います。

また、本格的な人口減少・少子高齢社会の到来、経済のグローバル化などに伴うさまざまな課題に対して、国・地方とも十分な政策対応がなされているとは言えない状況にあります。

こうした状況を踏まえれば、知事は、この1年間の成果に決して満足することなく、さらに大きな成果を上げるべく、次の1年に向けて新たな覚悟で県政運営

に取り組むべきだと思います。そこで伺います。当初予算編成では、知事の思いは反映させることができたのか。また、今年1年にかける知事の意気込みはどうか。

森田知事 今年、知事として2期目を迎え、これまで取り組んできた施策をしっかりと根付かせ、将来大きく花を咲かせるための大事業年だと思っています。

今、千葉県は圏央道東金・木更津間の開通や東京湾アクアラインの通行料金800円の継続決定、東京オリ

都知事との連携を！

阿部議員 東京都の外添知事は「地震対策や2020年の東京五輪にしても、広域でやらざるを得ない」と他県との連携を打ち出しています。広域連携に意欲的な都知事の誕生は、本県が東京都との連携を県政推進のエンジンとする大きなチャンスであり、知事自らが先頭に立って、東京都との連携を強化すべきであると思います。

東京都知事選の結果を受け、新しい都知事とはどのような連携していくのか。森田知事 本県と東京都には、防災対策や成田・羽

田の両空港の連携強化など、首都圏全体の国際競争力の強化に向け、多くの共通課題があると認識しています。



県職員と政策協議する阿部県議

●県政や千葉市稲毛区のご相談、ご意見を聞かせてください

あべこういち**県事務所**

〒263-0043 TEL.043-287-8595
千葉市稲毛区小仲台2-6-8-401 FAX 043-285-2192

阿部 紘一 検索 ホームページ <http://abe-koichi.com/>

中小企業対策で県へ要望



2月県議会で議員会長として中小企業支援で
知事に厳しく注文する阿部県議

消費税率引上げに懸念も

阿部議員 わが国経済は、アベノミクスによる経済対策の効果により、着実に回復に向かっていますが、その流が、全国津々浦々の中小企業に確実に波及し、浸透していくことが肝要です。

千葉財務局が発表しているBSIという指標では、平成16年の調査開始以来、初めてプラスに転じたということです。しかし、私が懸念しているのは、この4月に控える消費税率の引き上げが中小企業へ及ぼす影響です。それが、中小企業の景気回復の腰折れを招くことになつてはなりません。

佐藤商工労働部長 わが国経済は回復基調にありますが、4月に控える消費税率の引き上げによる影響も懸念されることから、この回復の流を中小企業に確実に波及させていくことが重要だと認識しています。

本年度は、「ちば中小企業元氣戦略」の見直しに向け、中小企業者等との意見交換会を県内各地で19回、有識者も交えた研究会を3回重

暗く長いデフレのトンネルによく明るさが見えつつある今、県においても国

の取り組みとの相乗効果も念頭に置きつつ、積極的な対策を図っていくべきではないでしょうか。

そこで伺います。県内中小企業の現状と課題を踏まえた今後の中小企業振興の方向性をどう考えているのか。

阿部議員 私は、建築物の耐震化を円滑に進めるためには、厳しい自治体財政を考慮してもなお、県と市町村が一体となつてできる限りの公的支援を検討すべきであり、また、耐震診断結果の公表に対する事業者の不安を極力解消すべきであると考えます。

そこで伺います。市町村への耐震助成制度の創設・拡充についてどのように進めていくのか。

早川都市整備局長 「耐震改修促進法」の改正により、病院、旅館など不特定多数の者が利用する大規模な建築物について、所有者が耐震診断を実施し、その結果を特定行政庁に報告することが義務付けられました。

これを踏まえ、県においては対象となる建築物のうち、防災活動拠点や避難所となる防災上重要なものについては、耐震診断に対する助成制度を新たに設けるこ

ねているところですが、中小企業の中でも特に小さな規模の企業への支援が重要である、などの意見をいただいています。

耐震改修の補助拡大

阿部議員 私は、建築物の耐震化を円滑に進めるためには、厳しい自治体財政を考慮してもなお、県と市町村が一体となつてできる限りの公的支援を検討すべきであり、また、耐震診断結果の公表に対する事業者の不安を極力解消すべきであると考えます。

そこで伺います。市町村への耐震助成制度の創設・拡充についてどのように進めていくのか。

早川都市整備局長 「耐震改修促進法」の改正により、病院、旅館など不特定多数の者が利用する大規模な建築物について、所有者が耐震診断を実施し、その結果を特定行政庁に報告することが義務付けられました。

これを踏まえ、県においては対象となる建築物のうち、防災活動拠点や避難所となる防災上重要なものについては、耐震診断に対する助成制度を新たに設けるこ

阿部議員 耐震診断結果の公表方法について、県はどのように考えているのか。

早川都市整備局長 診断結果の公表に当たっては、国から基本的な方針が示されており、県としては、建築物の用途ごとに診断結果の状況を一覧表にするなど、公表の方法や時期に十分配慮してまいります。

議員報酬支給明細書（平成26年2月分）	
氏名 阿部 紘 一 様	金 額
区 分	
議員報酬（A）	792,000
法定控除小計（B） 所得税	75,920 75,920
支給額（C=A-B）	716,080
現金支給（法定外）小計（D）	72,000
厚生会等控除（ア）	13,000
自民党党費	25,000
国民協会	1,000
特別党費	1,000
団費	5,000
自民党議連控除（イ）	9,000
その他控除（ウ）	18,000
口座振込額（E=C-D）	644,080
<自民党議連控除内訳>	
宅地建物議連	1,000
医療問題議連	1,000
生活衛生議連	1,000
私学振興議連	1,000
商工議連	1,000
介護問題議連	1,000
地域医療改革戦略会議	1,000
看護問題対策議連	1,000
鉄道問題研究議連	1,000
自民控除小計（イ）	9,000
<厚生会等控除内訳>	
議員団費	2,000
議員保険	8,000
日中友好議員連盟	1,000
地震・津波議員連盟	1,000
スポーツ振興議員連盟	1,000
厚生会等小計（ア）	13,000
<その他の控除内訳>	
青友会	3,000
京葉政経研究会	10,000
県盛會	5,000
その他の控除小計（ウ）	18,000

（現金支給額から市県民税、社会保険料、冠婚葬祭費等を考慮した実質受取額は460,000円前後となります。）

阿部県議が議員報酬を公開

他議員に先駆けて自らの議員報酬を公開してきた阿部紘一県議は、平成26年2月分についても公開しました。議員報酬は、市民・県民の血税から支出されるもので、公開は当然の行為としての阿部県議の信念に基づいて自主的に行われています。

国道357号渋滞で要望

阿部議員 国道357号の渋滞対策の状況はどうか。小池県土整備部長 国道357号は、千葉市から東京までの臨海部をつなぐ大動脈として、沿線での相次ぐ大規模商業施設や物流施設等の進出により、交通量が増加し、特に千葉市や船橋市内で激しい渋滞が発生

要望 耐震助成制度については、県は市町村と

同額を補助する仕組みです。市町村が賛同していただけない場合は、県からの補助もないわけで、建物所有者にとっては国の補助だけでは大変な負担になるわけです。

市町村に対し、その補助制度の創設と拡充にご理解いただき、しっかりと県と足並みをそろえるよう、ぜひ県からも市町村に働きかけていただきたいと思います。

要望 国で進めている国道357号の渋滞対策が1日も早く完成するよう要望します。

しているところです。このため、国では千葉市中央区から千葉市美浜区までの5・6キロについて、平成26年度の開通を目指し、交差点の連続立体化や車線の増設などを進めています。また、船橋市の栄町付近の1キロ区間では、平成27年度の開通を目指し、右左折レーンの設置や車線の増設を行っております。

県としては、これら整備が着実に進められ、国道357号を含む湾岸地域の交通の円滑化が図られるよう、今後とも国に強く働きかけてまいります。